



人気がある紅葉の吹割の滝。自然の眺望を満喫しながら渓谷を一周できる

# 人間味感じて

白沢町を代表する詩人おのちゅうこうの「望郷」の思いを詩や作文に表現する「おのちゅうこう文学賞」、吹割渓谷や沼田の風物詩を詠む「ふきわれ俳句大会」が毎年行われ、地域に根付いた取り組みとして受け継がれています。

自ら語ることのない石ですが、文学を通して情熱や郷里を思う心などが刻まれています。移りゆく時代にあっても、沼田の自然と風土とともに色あせることなく生き続け、私たちの心をなごませ温かさを添えていく文学碑の姿を感じてください。

# 今も生きている文学碑



山行に  
清くとも  
浩くとも  
おのちゅうこう  
ふきわれ  
ふきわれ  
おのちゅうこう  
おのちゅうこう

椎坂峠にあるおのちゅうこうの碑。赤城や子持、三峰山などの山々が一望でき、眼下にはちゅうこうが愛した沼田の街並みが見渡せ、望郷の念を沸き立たせる



吹割の滝の遊歩道が続く「詩のこみち」。鳥のさえずりや木々の間を吹き抜ける風の音がいやされる